

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第2回枚方市環境審議会地球温暖化対策実行計画策定部会
開 催 日 時	令和3年10月1日（金） 10時00分から 11時40分まで
開 催 場 所	輝きプラザきらら（枚方市教育委員会）3階 第1会議室
出 席 者	（WEB出席）岩井田委員、大石委員、小野委員、小幡委員、谷本委員、 豊高委員、深町委員、藤田委員、益田委員 （会場出席）松田委員、安田委員
欠 席 者	委 員：麻生委員、今堀委員、加我委員
案 件 名	【案件】 （1） 市民・事業者アンケートの結果について（速報値） （2） 枚方市の地域特性について （3） 第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsのゴール」との関係について （4） 地域脱炭素モデルのイメージ（案）について （5） 今後のスケジュールについて
提出された資料等の 名 称	資料1 市民・事業者アンケート結果（速報値） 資料2 枚方市の地域特性について 資料3 第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsのゴール」との関係 資料4 地域脱炭素モデルのイメージ（案） 資料5 今後のスケジュールについて（案） 参考資料1 市民アンケート結果（速報値） 参考資料2 事業者アンケート結果（速報値） 参考資料3 事業者（枚方市地球温暖化対策協議会対象）アンケート（速報値） 参考資料4 令和3年度第1回枚方市地球温暖化対策実行計画策定部会における意見要旨 参考資料5 令和3年度第1回枚方市環境審議会における意見要旨（第2次計画関係部分）
決 定 事 項	・市民・事業者アンケート結果（速報値）について確認した。 ・枚方市の地域特性について、土地利用の現況や緑被面積等の詳細を把握することを確認した。 ・第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsのゴール」との関係を確認した。 ・地域脱炭素モデルのイメージ（案）について、様々なエネルギーの活用を検討することを確認した。 ・今後のスケジュール（案）を確認した。

会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	なし
所管部署（事務局）	環境部 環境政策室（環境保全担当）

審 議 内 容

1 開 会

藤田部会長：定刻になりましたので、ただいまから令和3年度第2回地球温暖化対策実行計画策定部会を開催します。事務局から委員の出席状況の報告をお願いいたします。

事務局：今日は、委員14名の内、11名のご出席をいただいております。従いまして、枚方市環境審議会規則第4条第2項の規定に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。今日はweb会議システムを使用しているため、こちらの画面に示している注意事項について、ご確認をお願いいたします。1点目といたしまして、マイクにつきましては、発言しない時間はミュートにさせていただきますようお願いいたします。また、発言される場合は、マイクをONにいただき、お名前を言っていただいた後、ご発言をお願いします。2点目といたしまして、ビデオについてはONにさせていただきますようよろしくお願いいたします。但し、通信が安定しない場合は、事務局からビデオをOFFにさせていただくようお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。3点目といたしまして、接続に不具合が生じた場合は、再度、接続をしてください。それでも繋がらない場合は、先程お伝えした携帯番号までご連絡ください。

藤田部会長：ありがとうございます。本日、傍聴希望の方はおられますか。

事務局：おられません。

藤田部会長：それでは、本日の議事を進行させていただきます。本日の部会では、「市民・事業者アンケートの結果（速報値）」と「枚方市の地域特性」、「第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsの関係」との関係」また、「地域脱炭素モデルのイメージ（案）」について議論していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。案件に入ります前に、本日の資料の確認を事務局からお願いします。

事務局：資料を確認させていただきます。

まず、

次第

資料1 市民・事業者アンケート結果（速報値）

資料2 枚方市の地域特性

資料3 第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsのゴール」との関係

資料4 地域脱炭素モデルのイメージ（案）

資料5 今後のスケジュールについて（案）

参考資料1 市民アンケート結果（速報値）

参考資料2 事業者アンケート結果（速報値）

参考資料3 事業者（枚方市地球温暖化対策協議会対象）アンケート結果（速報値）

参考資料4 令和3年度第1回枚方市地球温暖化対策実行計画策定部会における意見要旨

参考資料5 令和3年度第1回枚方市環境審議会における意見要旨（第2次計画関係部分）

となっております。過不足はございませんでしょうか。

【過不足なし】

2 案件

案件1 市民・事業者アンケートの結果について（速報値）

藤田部会長：それでは、案件1「市民・事業者アンケートの結果について（速報値）」について事務局からご説明をお願いします。

事務局：【資料1、参考資料1～3により説明】

藤田部会長：ありがとうございます。ただいまのご説明について、ご意見等はございますでしょうか。

松田委員：前回と比較し市民アンケートの回収率が良いのは、途中で催促のはがきを送付したことによる効果と思われるのですが、はがきを送付する前と後で回答数がどう変わったのか、参考に教えていただけますでしょうか。

事務局：8月26日にアンケートを発送し、9月3日にお礼と催促のはがきを発送しました。その時点で約700通の返信がありましたが、お礼と催促のはがきを発送した後、9月8日に約400通の返信があり、事務局としても催促した効果と考えています。

藤田部会長：ありがとうございます。その他にご意見等はございますでしょうか。

【意見等なし】

それでは案件1は以上とします。

案件2 枚方市の地域特性について

藤田部会長：それでは、案件2「枚方市の地域特性」について、事務局からご説明をお願いします。

事務局：【資料2により説明】

藤田部会長：ただいまの事務局からご説明がございましたが、ご意見等はございますでしょうか。

益田副部会長：資料2の6ページの土地利用状況について、1990年と比較して耕地面積は約37%と大きく減少しているのにもかかわらず、全体で見ると田畑・山林等は大きな影響がありません。耕地面積が大きく減少した分は、どこへ含まれたのか疑問に思います。元々、耕地面積が小さいため、37%増減しても全体には影響がないのでしょうか。次に、7ページ図15の緑被率についてですが、草地面積が増加しているのは、農地の利用放棄なのか、何か目的があって草地としているのか、同じ緑被率にしても、今ある草地の状況により、今後の検討内容も変わってくるためそのような視点も必要なのではないでしょうか。

事務局：1点目について、益田副部会長がおっしゃるように、耕地面積だけでみると37%と大きく減少していますが、元々枚方市内で残っている耕地面積が少ないため、全体としては大きな影響が出ていません。2点目の緑被面積ですが、航空写真で各面積を出しているため、個々の状況まで把握できていないのが現状です。

益田副部会長：同じ緑被率でも、今ある草地の状況によっては今後の対応も考えていかなければならないと思います。放置されている草地であっても、ポイ捨てされないようにしておくなど、適正な状態にしておくことが重要ですので、そのような視点からも注意して把握しておく必要があると思います。

藤田部会長：ありがとうございます。より詳細な把握ができるように、今後の調査方法については検討いただければと思います。他にご意見等がありますでしょうか。

深町委員：先程のご質問に関連するのですが、7ページ図15の緑被率について、園地が大きく増えているように思うのですが、園地の具体的な内容や増えている理由について教えていただけますでしょうか。

事務局：市内にある大阪府の山田池公園が大きく拡大されたことによる影響かと思われます。

深町委員：年度ごとに少しずつ増えている傾向にあり、一か所だけの影響ではないと思います。どのような土地が園地となったのか含め、わかる範囲で教えていただければと思います。

事務局：山田池公園のほか、市内の公園も増えていることにより園地が増えているのではな

いかと考えています。

深町委員：具体的にはどのような土地が園地になっているのでしょうか。

事務局：詳細まで把握できていませんが、山田池公園であれば、元々農地であった土地が園地になっています。

深町委員：わかりました。ありがとうございます。

藤田部会長：緑被面積の内容や緑被率の推移が現在どうなっているのかを把握し、今後より深い議論を進めていきたいといった趣旨のご質問だったかと思います。深町委員のご質問も踏まえ、詳細の情報の集約をしていただければと思いますので、よろしくお願いたします。他にご質問等がありますでしょうか。

益田副部会長：過去20年、緑被率が33%前後と大きく変化がありませんが、枚方市にとってこの割合は好ましいのでしょうか。感覚としては多いようにも思うのですが、偏在しているため全体に広げていきたいのか、そのようなことも含めて考えていただければと思います。

藤田部会長：ありがとうございます。質の高い緑をどう確保していくかという趣旨のご意見であったかと思います。緑の質については毎回議論にもなっていますので、事務局で引き続き検討をお願いします。

事務局：過去の調査との比較を含め、可能な範囲で確認と整理をさせていただきます。また、次回のいきもの調査において、緑被面積等を出す際には、状況の詳細についても可能な範囲で調べていきたいと思います。

藤田部会長：ありがとうございます。他にご意見等がありますでしょうか。

小幡委員：1ページの市内の平均気温は上昇傾向にあると説明されていますが、平均気温のグラフでは2000年までは上昇傾向にあるものの、それ以降は横ばいであるように見えますが、上昇傾向をどのように捉えているのでしょうか。また、3ページに人口のグラフがありますが、2030年までの人口の推移は横ばいなのか、もしくは減少であるのか、どのように推計していくとされているのか聞かせていただけますでしょうか。

事務局：緩やかな上昇傾向というイメージで記載しましたが、ここ数年は横ばいになっていますので、そのように修正させていただきます。また、2030年までの人口の推計ですが、現在計算しているところでありますので、人口動態や世帯数など、改めて説明させていただきます。

小幡委員：ありがとうございます。

藤田部会長：私から確認ですが、4ページの図7について、2014年の第1次産業の従業員28名というのは正しいのでしょうか。ご確認をお願いいたします。

事務局：再度確認させていただきます。

藤田部会長：他にご意見等がありますでしょうか。

【意見等なし】

ご意見等がないようですので、案件2は以上とします。

案件3 第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsのゴール」との関係について

藤田部会長：案件3、第2次計画と「2050年実質ゼロ」と「SDGsのゴール」との関係について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局：【資料3により説明】

藤田部会長：ありがとうございます。5ページ目のご説明はよろしいでしょうか。

事務局：4ページにおいて、次期温暖化計画の基本方針とSDGsのゴールとの関係を示しましたので、5ページ目の第3次環境基本計画とのSDGsとの関係は参考に見ていただけた

ればと思います。第3次環境基本計画策定時は、特に関係性の深いゴールを大きく表記し、間接的に関係するゴールを小さく表記しました。次期温暖化計画においても、現在は4ページのとおり大小で表記していますので、どう整理していけばよいのか委員の皆様のご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

藤田 部 会 長：わかりました。ご説明いただいた資料3についてご意見等がありますでしょうか。

松 田 委 員：3ページのCO₂排出量の内訳について、分野ごとに示していただけていますが、自動車からどれだけ排出されているか等、具体的な内容がわかりません。例えば、自動車からの排出量が非常に多いとわかれば、電気自動車に買い替えようといった行動変容にもつながると思うのですが、この内訳についてはどうお考えでしょうか。

事 務 局：枚方市の排出量内訳については、概算ではありますが、例えば、運輸部門でJR等の鉄道、市内の自動車からどれだけCO₂が排出されているのかは把握しております。今後、目標達成に必要な活動量の試算をする際に、目安として市内登録台数のうち何台を電気自動車に移行していく必要があるのか等を示していきたいと考えています。

松 田 委 員：わかりました。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。他にご意見等はございますでしょうか。

【意見等なし】

ご意見等がないようですので、案件3は以上とします。

案件4 地域脱炭素モデルのイメージ (案) について

藤田 部 会 長：案件4「地域脱炭素モデルのイメージ (案)」について、事務局よりご説明をお願いします。

事 務 局：【資料4により説明】

補足ですが、資料4は、再生可能エネルギーの活用を強調した資料となっており、緑の活用等様々なジャンルを巻き込んだモデルのイメージが示せていませんので、その点についてご意見等をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。事務局からのご説明について、ご意見等はございますでしょうか。

小 幡 委 員：資料4では、再生可能エネルギーを基本に複数のモデルが示されていますが、資料3の4ページ、表の各基本方針につながるような形で、緑を含む様々なジャンルのモデルを提案していただければと思います。次に、案件3に戻ってしまうのですが、資料3の4ページに、次期温暖化計画に関連するSDGsのゴール、その横には第3次環境基本計画の関連項目が記載されていますが、次期温暖化計画の基本方針にも同じようなことが記載されていますので、第3次環境基本計画の関連項目の所は、関連するSDGsのターゲットや指標を具体化してまとめてはいかがでしょうか。また、SDGsの基本理念である包括性等も踏まえて整理すると、よりSDGsとの関連性がわかりやすくなるのではないのでしょうか。

事 務 局：資料4では再生可能エネルギーを強調した資料になっていますが、その他のジャンルを活用した取り組みも示すことができるように整理してきます。次に、SDGsのターゲットや全体の基本理念との関連性等、再度整理し、どう示していくことができるのか検討したいと思います。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。他にご意見等はございますでしょうか。

深 町 委 員：枚方市は都市地域だけでなく雑木林や里山地域もありますが、その緑が有効に活用されていなかったり管理できていない状況があるなかで、緑の適正な管理はとても重要だと思います。現在は、薪を使うなど、身近な資源を上手く使ったエネルギーの活

用が様々な地域で実現されつつあります。このような身近な緑や木質バイオマスを活用して、枚方市独自の地域特性を踏まえたモデルのイメージを考えていくことができるのではないかと思います。

事務局：緑に関連したモデルについてご相談させていただきながら、提案していただくことができればと思います。

藤田部会長：資料3でいうと自然環境とどう向き合っていくのかといった視点で、新たなイメージをご検討いただければと思います。

益田副部会長：お話を聞いていて、バイオマスの活用についても、モデルのイメージに盛り込んでいけるのが良いのではないかと感じました。もう1点、地中熱利用について皆様に勉強していただきたいと思っております。例えば、大規模な施設でなく一つの建物程度の規模の冷暖房であれば、とても効率的に活用できる可能性があります。夏、太陽光のエネルギーを地中に蓄熱し、そのエネルギーを冬に利用することが可能です。場所を選ぶということもあり、日本では普及していませんが、地中熱利用についても検討していただくことで、より一層、効率的に再生可能エネルギーの普及が進むのではないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。国の補助金や、既にあるものをベースにモデルのイメージを提案しましたが、バイオマス含め多様なエネルギーの活用について検討し、可能な限り計画で示していくことができればと思います。

藤田部会長：事務局からご説明いただいたのはイメージ（案）ですので、その他好事例であるものや新たな手法等がありましたらご意見等いただければと思いますが、いかがでしょうか。

岩井田委員：EV車を普及していくなかで、充電設備の整備が進んでいないといった課題があります。自分の持ち家であれば充電設備の整備はできても集合住宅の場合は整備が難しい、出かけた際に充電設備があまりない等といった課題がありますので、枚方市としても、モデルのイメージに盛り込み、取組みを進める検討をお願いしたいと思います。

藤田部会長：EV車の充電設備の整備についても、あわせて計画に盛り込んでいただければと思いますが、事務局の皆様いかがでしょうか。

事務局：2030年に向けて、おそらくEV車の普及は必須となりますので、市民がEV車を導入しやすいよう何か方策を打ち出すことができればと思います。

小幡委員：市民アンケートにおいて、太陽光発電システムを導入しているのは6.5%に止まっており、将来どこまで増やしていくのかを検討されるのではないかと思います。資料では再生可能エネルギー100%の地域新電力からの購入等と記載されていますが、2050年ゼロにするためには致し方ないかと思いますが、それと同時にかなり難しい計画になるのではないかと思います。絵に描いた餅にならないように、新しい方向性を示していただきたいということが1点と、それに関連して費用がかかります。先程のEV車の充電設備の整備や緑の適正な管理にも、労力とコストが必要です。そのような面も踏まえてしっかり検討していかなければならないのではないかと思います。

藤田部会長：ありがとうございます。どのように施策として実現可能なものへと近づけていくのかは、この部会に課せられた宿題ではないかと思っておりますので、事務局からお答えをいただき、引き続き部会でも考えていければと思っております。事務局の皆様いかがでしょうか。

事務局：計画のなかでどこまで具体的に示すことができるかですが、2030年の目標達成に向けて、先程の太陽光発電システムの導入をどれだけ進めていく必要があるのか等も提示し、ご意見をいただきながら計画を策定していければと考えております。

藤田 部 会 長：他にご意見等はございますでしょうか。

【意見等なし】

それでは、案件4は以上とします。

案件5 今後のスケジュール (案) について

藤田 部 会 長：案件5「今後のスケジュール (案)」について、事務局からご説明をお願いします。

事 務 局：【資料5】により説明

藤田 部 会 長：ただいまの事務局からのご説明や全体をとおしてご意見等はございますでしょうか。

谷 本 委 員：意見ではないのですが、市民アンケートと事業者アンケートに加えて、地球温暖化対策協議会アンケートも実施されていましたが、この地球温暖化対策協議会の事業者の意識が高い傾向にあるのであれば、事業者アンケートと比較してみることで補助策、支援策といったポイントとなる傾向が見えてくるのではないかと思いました。次に緑被率の話題が多くでてきましたが、市では、まちなかの緑を含め、緑を増やしていく取り組みをされているかと思います。今後、二酸化炭素の吸収の面でも緑被率を上げていくことは必要ですので、公園施策等その他関連部署と連携していただければと思います。次に、廃棄物処理についてですが、従来の施設も老朽化するなかでコストとの見合いも考える必要がありますが、廃棄物を処理する際に排出される二酸化炭素をいかに減らすのかという施策も必要かと思います。それは廃棄物発電で補うことになるのかもしれませんが、今後の課題にもなるかと思います。あと、資料3の3ページのグラフですが、国の方ではエネルギー転換部分がありますが、枚方市の方にはありません。枚方市ではエネルギー転換は考えられないのでしょうか。

事 務 局：ご意見ありがとうございます。今後の計画策定に向けて検討していきます。次に、エネルギー転換についてですが、国は全国の発電所等における自家消費等に伴うで二酸化炭素排出量をエネルギー転換部門としており、枚方市では、発電所等における排出量の割合がごくわずかであることから、今回は省いた形で整理をさせていただきました。

谷 本 委 員：一つの自治体では難しいということですね。ありがとうございます。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。他にご意見等ありますか。

深 町 委 員：谷本委員がおっしゃった、都市のなかの緑という観点はとても大事だと思います。今回は温暖化対策という観点ですが、グリーンインフラを含めて都市の緑地を考えていくなかで、都市の防災等にもつながってきますので、積極的に進めていただきたいと思います。一方で、雑木林は草地などの情報について、やはり草地がとても多い点が気になります。今後の木質バイオマスの活用や温暖化対策には不可欠ですので、数字だけでなく空間的にどう広がっているのか、具体的な状況の把握をしていただければと思います。農林に関連する部署の方との状況共有や連携しながら市として施策を進めていただくようお願いします。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。オール枚方で情報共有をしていく重要さをご指摘いただきましたが、事務局から何かございますでしょうか。

事 務 局：緑地の関係ですと農業もしくは緑の部局になりますが、連携しながら進めていかなければならないという点、また、緑地の種類別の分析については足りていない部分があり、枚方市の弱点となってる点が見えていないため、今後こうした視点についても整理をしていきます。

藤田 部 会 長：市域の緑をどう扱っていくのかという重要な指摘をいただいておりますので、事務局の皆様よろしくお願いいいたします。その他、本日も発言いただけていない委員の皆様

様、何かございましたらご意見等いただければと思いますが、いかがでしょうか。

小野委員：他の自治体の審議会の委員をさせていただいているなかで、SDGs、脱炭素が最近のキーワードとなっています。SDGsであれば内閣府がSDGs未来都市の募集をしていたり、環境省では脱炭素先行地域の募集をし、選定されれば補助をだす事業を打ち出されていたりと、国でもSDGsや脱炭素に対して動き始めていると理解しております。SDGsや脱炭素を進めていくには市単独の予算では限界があり、これらの補助事業の活用がおそらくついてくるのかと思っております。そのあたりはどのような状況でしょうか。情報共有していただければと思います。

事務局：SDGs未来都市については、市全体で取り組んでいかなければならないという動きはありますが、未来都市として申請するかについて、現在は何とも言えない状況です。また、脱炭素先行地域については、枚方市では「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」宣言を行っていることもありますし、資料4で示したモデルが脱炭素先行地域に活用できるかは、今後検討していきたいと考えているところです。

小野委員：ありがとうございます。他の自治体も今後検討していかなければならないとおっしゃっています。世の中の動きが早く非常に大変かと思いますが、我々も一緒に考えていければと思いますのでよろしくお願いいたします。

藤田部会長：策定した計画の実効性を高めるために、これらの補助事業について情報共有していただければと思います。その他ご意見等はありませんでしょうか。

【意見等なし】

それでは、本日の案件は以上とします。

3 開会

藤田部会長：その他、何かご意見等が出てきましたらメール等で事務局にご連絡いただければと思います。最後に事務局から連絡事項のお伝えをお願いいたします。

事務局：藤田部会長からご説明いただいたとおり、他にご意見等ありましたら環境政策室へご連絡をお願いします。11月に第3回部会、12月に第4回部会と全体会の中間報告をさせていただきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

藤田部会長：ありがとうございます。それでは時間が参りましたので、第3回枚方市地球温暖化対策実行計画策定部会は閉会いたします。ありがとうございました。